

# 全保協ニュース

〔協議員情報〕

全国保育協議会

TEL. 03-3581-6503 FAX. 03-3581-6509

ホームページアドレス [ <https://www.zenhokyo.gr.jp> ]

## —今号の目次—

- ◆ 第67回全国保育研究大会(奈良大会)分科会登壇者のお知らせ……………1
- ◆ 【協力依頼】「顧客推奨度調査」へのご協力をお願いについて(厚生労働省)……………3
- ◆ 重大事故防止のための啓発資料について(こども家庭庁)……………4

## ◆ 第67回全国保育研究大会(奈良大会)分科会登壇者のお知らせ

第67回全国保育研究大会（奈良大会）分科会登壇者が決まりましたので、下記のとおりお知らせいたします。本大会は多くの方にお申込みいただいております、一部の分科会は定員に達したところもございますが、8月30日までお申し込みを受け付けております。みなさまのお申込みをお待ちしております。お申し込みは、全社協ホームページの大会特設ページ（下記 URL）からお願いいたします。

【大会お申込み】 <https://www.zenhokyo.gr.jp/lp/lp-1237/>

### 第67回全国保育研究大会（奈良大会）分科会登壇者 一覧

#### 第1分科会 会場：奈良県コンベンションセンター

テーマ	新たな時代の保育実践～すべての子どもにむけて～	
講師	北野 幸子氏（神戸大学大学院 教授）	
発表事例	都道府県等	施設名
	岩手県	明和保育園
	長野県	豊野ひがし保育園
	鹿児島県	朝仁保育園

#### 第2分科会 会場：奈良県コンベンションセンター

テーマ	配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて	
講師	七木田 敦氏（広島大学 教授）	
発表事例	都道府県等	施設名
	奈良県	認定こども園 生駒ピュアこども園
	広島県	常石すくすくハウス
	沖縄県	やまびこ久辺保育園

#### 第3分科会 会場：奈良県コンベンションセンター

テーマ	保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を発信する	
講師	清水 益治氏（帝塚山大学 教授）	
発表事例	都道府県等	施設名
	秋田県	花輪にここ保育園
	東京都	グラン仙川ちとせ保育園 深大寺東町ちとせ保育園
	山口県	第二乳児保育園 西岐波保育園

※発表テーマは9月上旬に  
お知らせします

#### 第4分科会 会場:奈良県コンベンションセンター

テーマ	地域の子育て家庭への支援の充実に向けて	
講師	立花 直樹氏 (関西学院短期大学 准教授)	
発表事例	都道府県等	施設名
	石川県	あおば保育園
	愛媛県	西条市立東予北保育所 西条市立東予南こども園
	長崎県	いちご保育園

#### 第5分科会 会場:奈良県コンベンションセンター

テーマ	子どものより良い育ちと安全・安心の環境づくりにむけた関係機関とのネットワーク	
講師	倉石 哲也氏 (武庫川女子大学 教授)	
発表事例	都道府県等	施設名
	横浜市	横浜市長津田保育園 横浜市永田保育園
	愛知県	美和こども園
	鳥取県	浜村保育園

#### 第6分科会 会場:奈良県コンベンションセンター

テーマ	家庭や地域との連携による食育の推進	
講師	堤 ちはる氏 (相模女子大学 教授)	
発表事例	都道府県等	施設名
	静岡県	勝間田保育園
	京都府	ルンビニこども園
	熊本県	波野保育園 乙姫保育園

#### 第7分科会 会場:奈良県コンベンションセンター

テーマ	保育の社会化において～保育の営みをいかに社会に発信するか～	
講師	大方 美香氏 (大阪総合保育大学 教授)	
発表事例	都道府県等	施設名
	川崎市	あすいく保育園
	富山県	認定こども園津沢こども園
	大阪市	大阪市立御崎保育所

※発表テーマは9月上旬にお知らせします

#### 第8分科会(開催地企画分科会)

会場:奈良ロイヤルホテル ほか

テーマ	「福祉発祥の地、奈良からの発信」 ～親と子の関りを考えながら、奈良を深く知る～	
講師	西山 厚氏 (帝塚山大学 客員教授)	

#### 第9分科会 会場:ホテル日航奈良

テーマ	公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割	
講師	前田 信美氏 (山陽学園短期大学 准教授)	
発表事例	都道府県等	施設名
	栃木県	にっこり保育園・粟野保育園
	神戸市	竜が台保育所・倉石保育所
	沖縄県	浦添市立内間保育所

#### 第11分科会 会場:ホテル日航奈良

テーマ	フリー発表分科会		
発表事例	都道府県等	施設名	氏名
	岐阜県	たちばな保育園	園長 佐藤 鉄司 氏
	千葉県	柏さかさい保育園	理事長 中山 勲 氏
	長崎県	いけだ認定こども園	保育教諭 亀淵 里菜 氏
	京都市	養正保育所	保育士 岩崎 千夏 氏
	鹿児島県	ミルキー・マリー保育園	保育士 鏡園 柊哉 氏
ほか: (※発表者調整中)			

※発表テーマは9月上旬にお知らせします

## 第10分科会(特別分科会) 会場:奈良県コンベンションセンター

テーマ	
これからの時代の保育所・認定こども園のあり方～人口減少社会での取り組み～	
スケジュール	
9:30～10:00	人材養成会議参加者発表 登壇者:調整中
10:00～11:30	講義「人口減少で私たちの生活はどう変わるのか(仮称)」 慶応義塾大学 経済研究所 ファイナンシャル・ジェロントロジー研究センター長・教授 駒村 康平 氏
12:30～13:30	講義「人口減少のなかで保育に期待される役割(仮称)」 一般社団法人 家族・保育デザイン研究所 代表理事/全国保育士養成協議会 会長 汐見 稔幸 氏
13:45～15:45	座談会「人口減少のなかで保育に期待される役割(仮称)」 コーディネーター:汐見 稔幸 氏 座談会登壇者: 学校法人リズム学園はやきた子ども園 園長 福田 剛 氏 社会福祉法人三篠会白木いづみこども園 園長 紀本 恵美 氏 奈良義町立なぎつ子こども園 園長 中村 雅徳 氏

## ◆【協力依頼】「顧客推奨度調査」へのご協力をお願い について(厚生労働省)

人材不足が特に顕著な医療・介護・保育分野の職業紹介事業について、紹介手数料額や採用後の早期離職などの諸事案への対応として、令和3年度に「医療・介護・保育分野における適正な有料職業紹介事業者認定制度」が創設され、56社が適正事業者として認定されています。

認定制度の改善及び認定事業者のサービス品質向上に活用するため、有料職業紹介事業者に関する顧客推奨度調査が厚生労働省により実施されており、本会に調査の協力の依頼がありました。認定事業者を活用したことがある会員のみなさまにおかれましては、調査へのご協力をお願いします。

回答方法はWEB調査のみとなり、回答期限は9月3日(火)です。下記URLにアクセスいただき、ご回答ください。なお、本調査にかかる問い合わせは日本人材紹介事業協会の窓口へ直接ご連絡ください。

調査名：厚生労働省委託事業 医療・介護・保育分野における有料職業紹介「適正認定事業者」のサービス品質に関する顧客推奨度調査

調査 URL：<https://survey-z.com/wix/p244008311432.aspx>

回答締切：9月3日(火)

<本調査に関する問い合わせ先>

一般社団法人 日本人材紹介事業協会 (厚生労働省委託事業事務局)

TEL：03-6403-1827

メール：[ninteiseido@jesra.or.jp](mailto:ninteiseido@jesra.or.jp)

(受付10時～17時、土・日・国民の祝日を除く)

過去の調査結果につきましては、調査分析レポートとして、適正認定制度のホームページで公開されており、下記URLからご確認いただけます。

HOME>認定制度について>顧客推奨度調査について

[https://www.jesra.or.jp/tekiseinintei/outline/customer\\_survey/](https://www.jesra.or.jp/tekiseinintei/outline/customer_survey/)

## ◆ 重大事故防止のための啓発資料について(こども家庭庁)

こども家庭庁では、保育所などの教育・保育施設等において発生した事故のうち、死亡事故や意識不明の事故、または、完治までに30日以上の治療を要する事故について、自治体から報告を受けて集約し、年に1回公表しています。

8月2日に昨年1年間(令和5年中)に国に報告があった重大事故をとりまとめ、公表されました。重大事故件数は2,772件であり、そのうち死亡事故は9件発生しています(昨年5件)。また、死亡事故の中には、乳幼児の睡眠中の事故が4件含まれ、そのうち3件はうつぶせ寝で発見された事故でした(4件のうち、0歳児3件、1歳児1件)。

こども家庭庁では、このような事故の発生を防止するため、施設等における重大事故が発生しやすい場面ごとの注意事項等をまとめた「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」を策定し、事故防止を徹底するよう周知を図っています。

ガイドラインには、保育者が普段実践している内容が掲載されており、あらためてガイドラインを確認することで保育のさらなる質の向上につなげてください。

### 【教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン】

<https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/effort/guideline/>

- 保育専門職員が作成した研修動画「こどもの命を守るために」(こども家庭庁 YouTube 掲載) や、保育士等へのアンケートやセミナーを通じ、現場のニーズを踏まえた上で作成した啓発資料「こどもの重大な事故を防ぐためのポイント ねる・たべる・みずあそび」等により、ガイドライン等の内容をわかりやすく伝えるよう取り組んでいます。
- 上述のガイドライン等については、本年3月(新年度を迎える時期)、5月(プール・水遊びを迎える時期)、8月(事故報告集計を公表したタイミング)に、こども家庭庁から自治体宛に事故防止の注意喚起を図る事務連絡文書を発出した際に、添付して周知されています。

合わせて、添付「【添付①】重大事故防止のための啓発資料の周知について(ご依頼)」をご覧ください。